

メジャーポートR

取付説明書 — 基本・縦連棟・ロング柱・H28柱・M合掌・Y合掌 —

- このたびは、東洋エクステリア製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容(指示)にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味



警告

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。



注意

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号



ポイント

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。



- 取付説明の内容全体(個々の説明枠)にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。



補足

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

<施工の前に>



警告

- カーポートは簡易型車庫です。物置・遊び場あるいは住居の一部等への転用を目的に、みだりに改造・変更をしないでください。



注意

- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。
- 設置場所の確認をしてください。
 - ・施工場所に寸法的に正しく納まるか確認してください。
 - ・施工場所の気象条件(風、雪など)に合った製品かどうか確認してください。
 - ・建物の屋根からの雪の落下を、直接受けない位置かどうか確認してください。
 - ・強風地域、特に崖上、屋上、風の通り道上などの施工は避けてください。
 - ・給湯器や暖房機などの熱排気が、製品に直接当たらないように施工してください。排気による塗装劣化・剥離(はくり)のおそれがあります。
 - ・給湯器や暖房機などの熱排気が製品内(屋根・パネルなどで囲んだ内部)にこもるような場所に施工しないでください。排気による中毒や塗装劣化・剥離(はくり)のおそれがあります。
- 傾斜地に設置する場合は、低い場所の柱の埋込み深さを確保してください。
- 崖縁などの高低差がある場所には設置しないでください。また、片流れタイプの場合、風当たりの強い場所では、風にあおられない向きに取付けてください。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- 柱・梁等の強度部材への孔加工は強度低下の可能性がありますので、指定箇所以外へは行なわないでください。
- 商品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。

<施工上のご注意>

⚠ 注意

- 取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
- 柱の移動は弊社指定範囲内にしてください。
- ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締付け、固定してください。
- アルミ製品が亜鉛、ステンレス以外の金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 腐食のおそれのある接着剤や化学製品を使用する場合は、製品と接触しないようにするか、接触する部分を完全に養生してください。
- 製品の改造は絶対にしないでください。
- 施工終了後は、ボルト、ネジなどにゆるみがないか確認してください。
- 施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。

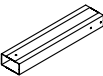
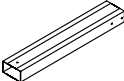
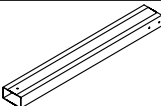
<基礎工事について>

⚠ 注意

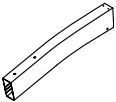
- 基礎部の埋込み深さは製品ごとに決めています。現場によって(堅牢な地盤、軟弱な地盤など)基礎部のコンクリートの量(体積)を十分配慮してください。
- 寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。
- コンクリート(またはモルタル)には、塩分を含む砂(海砂)および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤(凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など)は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食の原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。
- モルタルやコンクリートの抽出液が、工事中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、シミやムラなどの外観不良の原因になります。
- 製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。

■梱包明細表

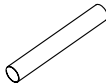
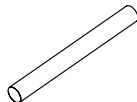
①主柱セット

名 称	略 図	員 数				
		2本入	1本入	ロング 2本入	ロング 1本入	H28 1本入
柱		2	1	—	—	—
ロング柱		—	—	2	1	—
H28柱		—	—	—	—	1
取扱説明書	—	1	—	1	1	1

②梁セット

名 称	略 図	員 数	
		2本入	1本入
梁		2	1

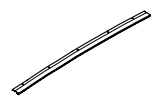
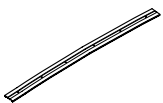
③縦樋セット

名 称	略 図	員 数	
		L3100	L3900
縦樋 L=3100 φ40		1	—
縦樋 L=3900 φ40		—	1

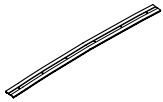
4 ブラケットセット

名 称	略 図	員 数			
		ミ ニ		レギュラー	
		2本入り	1本入り	2本入り	1本入り
ブラケット		2	1	2	1

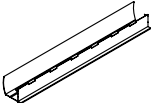
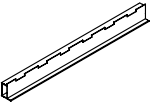
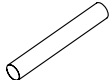
5 幅セット

名 称	略 図	員 数		
		50型	57型	29型
側枠R		1	1	1
側枠L		1	1	1
側枠カバー		2	2	2
アーチ		6	7	3
アーチカバー		6	7	3

6 連棟用幅セット

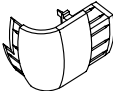
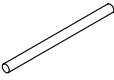
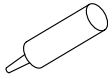
名 称	略 図	員 数		
		50型	57型	14型
アーチ		7	8	2
アーチカバー		7	8	2

7 長さセット

名 称	略 図	員 数									
		50型			57型			14型			29型
		2本入り	3本入り	4本入り	2本入り	3本入り	4本入り	2本入り	3本入り	4本入り	2本入り
前枠		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
後枠		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
母屋		2	3	4	2	3	4	2	3	4	2
縦樋 $\phi 40$		1	1	1	1	1	1	—	—	—	—

■梱包明細表 つづき

⑧部品セット

名 称	略 図	員 数					
		ミ ニ			レギュラー		
		29/50型	57型	14型	50型	57型	14型
前枠コーナーキャップR		1	1	1	1	1	—
前枠コーナーキャップL		1	1	1	1	1	—
後枠コーナーキャップR		1	1	1	1	1	—
後枠コーナーキャップL		1	1	1	1	1	—
梁キャップ		2	2	1	2	2	1
梁用止水パッキン		2	2	1	2	2	1
ブラケットカバーR		2	2	1	2	2	1
ブラケットカバーL		2	2	1	2	2	1
アンカー棒		2	2	1	2	2	1
ブチルシーリング材		1	1	1	1	1	1
孔隠しシール		16	16	10	20 (24)	20 (24)	10 (12)
雨樋アタッチメント		1	1	1	1	1	1
雨樋孔ふさぎキャップ		1	1	1	1	1	1
アタッチメントパッキン		2	2	2	2	2	2
ドレンエルボ φ40用		1	1	1	1	1	1

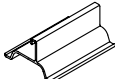
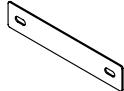
名 称	略 図	員 数					
		ミ ニ			レギュラー		
		29/50型	57型	14型	50型	57型	14型
92°エルボ φ40用		2	2	2	2	2	2
でんでん		3	3	3	3	3	3
接着剤		1	1	1	1	1	1
⑧-① M8×25六角ボルト (SW+PW)		14	14	7	14	14	7
⑧-② φ5×55タッピンサラネジ		2	2	1	2	2	1
⑧-③ φ5×16トラスネジ		4	4	2	4	4	2
⑧-④ φ4×10ワッシャーヘッドネジ		98	108	32	118 (162)	130 (179)	38 (50)
⑧-⑤ φ4×13ナベピアスネジ		34	—	14	42 (50)	—	12 (14)
⑧-⑥ φ5×13ナベピアスネジ		7	45	4	9 (11)	56 (67)	5 (6)
⑧-⑦ φ4×12トラスタッピンネジ3種		4	4	4	4	4	4
⑧-⑧ φ4×13ナベピアスネジ		3	3	3	3	3	3
取付説明書	—	1	1	—	1	1	—

※()内は間口30型です。

9]M・Y合掌棟木セット

名 称	略 図	員 数
M・Y合掌棟木		1

10]M合掌部品セット

名 称	略 図	員 数		
		50型	57型	14型
M合掌カバー材(下)		4	5	2
M合掌キャップ		2	2	—
梁連結材		4	4	2
⑨-① M8×75六角ボルト		4	4	2
⑨-② M8平座金		8	8	4
⑨-③ M8バネ座金		4	4	2
⑨-④ M8袋ナット		4	4	2
⑨-⑤ φ4×13ナベピアスネジ		8	9	2

■梱包明細表 つづき

11 Y合掌部品セット

名 称	略 図	員 数	
		50型	57型
Y合掌カバー材(下)		4	5
Y合掌キャップ		2	2
Y合掌用柱連結金具		2	3
11-① φ4×13ナベピスネジ		8	9

12 M合掌連棟部品セット

名 称	略 図	員 数
M・Y合掌縦連棟カバー材(上)		1
M合掌縦連棟カバー材(下)		1
12-① φ4×13ナベピスネジ		4

15 連棟部材セット

名 称	略 図	員 数	
		18~27用	30用
前枠スリーブ		1	1
後枠スリーブ		1	1
母屋スリーブ		3	4
母屋スリーブ スペーサー		3	4
15-① φ4×13 ピスネジ		42	50
15-② φ4×16 サラピスネジ		3	4

13 Y合掌連棟部品セット

名 称	略 図	員 数
M・Y合掌縦連棟カバー材(上)		1
Y合掌縦連棟カバー材(下)		1
13-① φ4×13ナベピスネジ		4

14 屋根材セット

名 称	略 図	員 数	
		3枚入	4枚入
屋根パネル		3	4

16 屋根材ホルダーセット

オプション

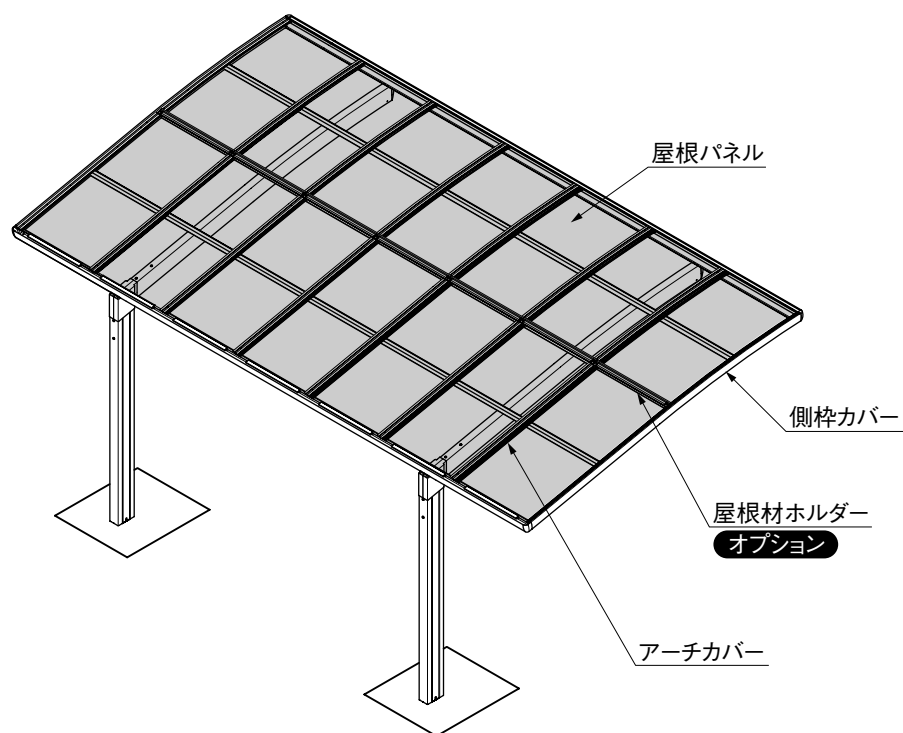
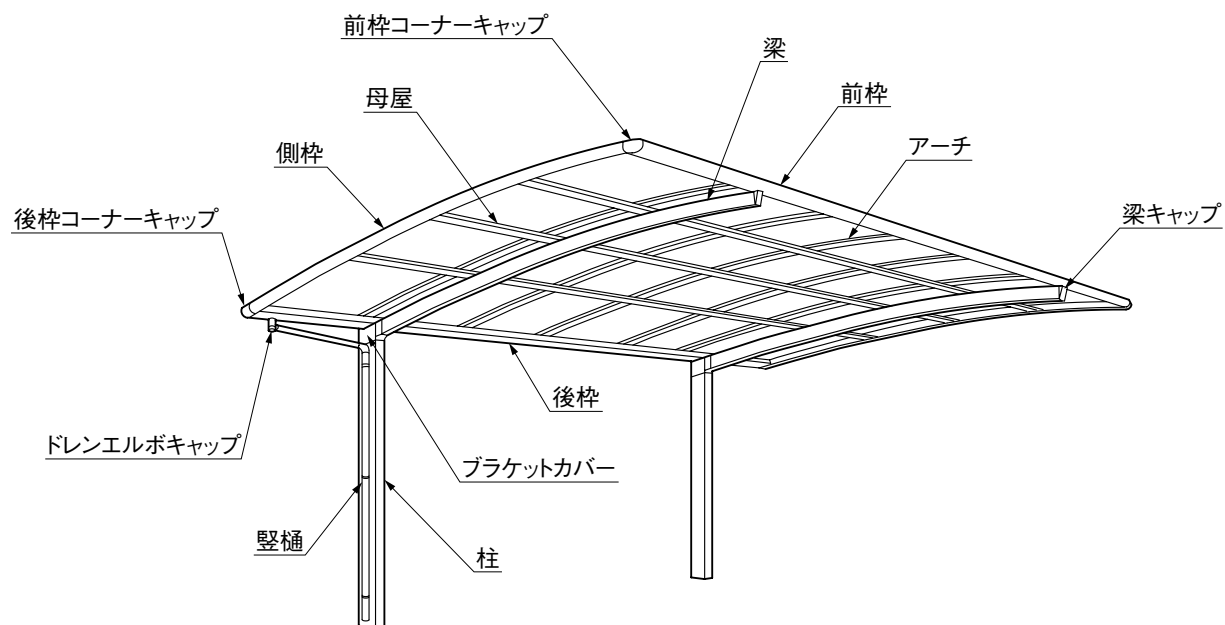
名 称	略 図	員 数		
		7本入り (50型)	8本入り (57型)	2本入り (14型)
屋根材ホルダー		7	8	2
16-① φ5×13ピスネジ		18	20	5

INDEX

1 基本寸法と各部の名称	8
1. 各部の名称	8
2. 基本寸法	9
2 基本の施工方法	12
1. 基礎の施工	12
2. 柱と梁の取付け	12
3. 前枠・母屋・後枠の取付け	13
4. 側枠・アーチの取付け	14
5. 屋根パネルの取付け	15
6. 縦樋の取付け	18
3 M合掌の施工方法	19
1. 基礎の施工	19
2. 本体の組立て	19
4 Y合掌の施工方法	21
1. 基礎の施工	21
2. 本体の組立て	21
5 縦連棟の施工方法	23
1. 基礎の施工	23
2. 本体の連結	25
3. M合掌・Y合掌の縦連棟	27

1 基本寸法と各部の名称

1. 各部の名称

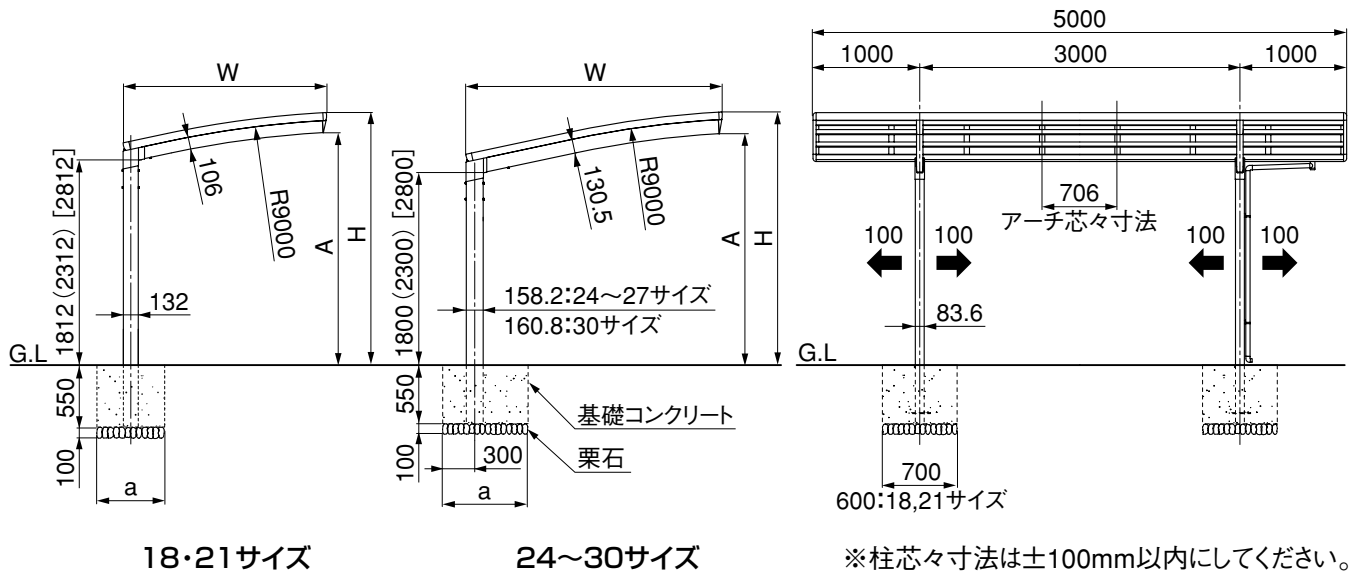


2. 基本寸法

※図は標準柱仕様を示します。

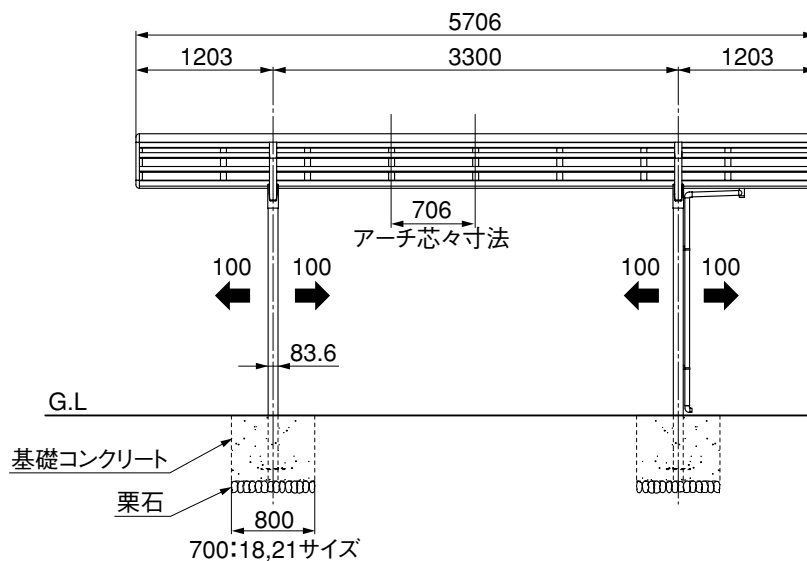
()はロング柱仕様、[]はH28柱仕様、< >は57型を示します。

2-1 奥行き50タイプ



サイズ	W	A	H	a:50型	a:57型
18	1801	2057 (2557) [3057]	2235 (2735) [3235]	600	700
21	2101	2121 (2621) [3121]	2298 (2798) [3298]	600	700
24	2401	2167 (2667) [3167]	2370 (2870) [3370]	800	950
25.5	2551	2199 (2699) [3199]	2402 (2902) [3402]	800	950
27	2701	2231 (2731) [3231]	2434 (2934) [3434]	800	950
30	3000	2377 (2877) [3377]	2580 (3080) [3580]	1000	1150

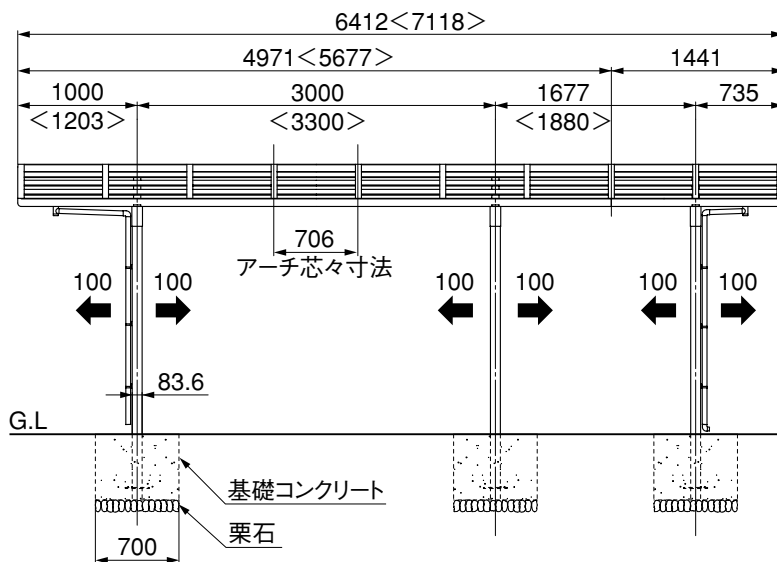
2-2 奥行き57タイプ



※柱芯々寸法は±100mm以内にしてください。

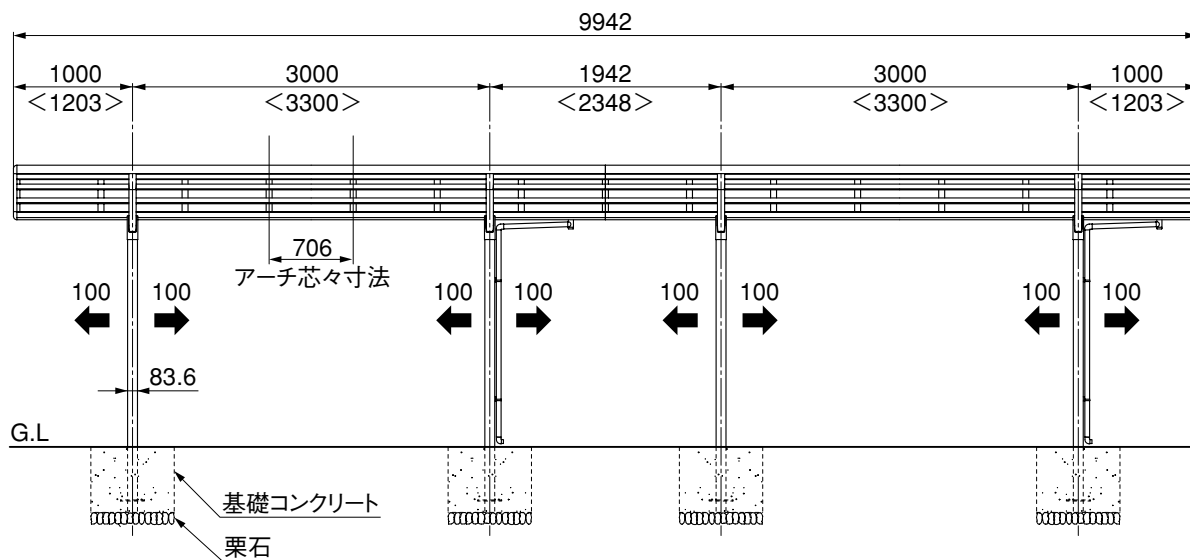
2. つづき

2-3 奥行き14延長縦連棟タイプ



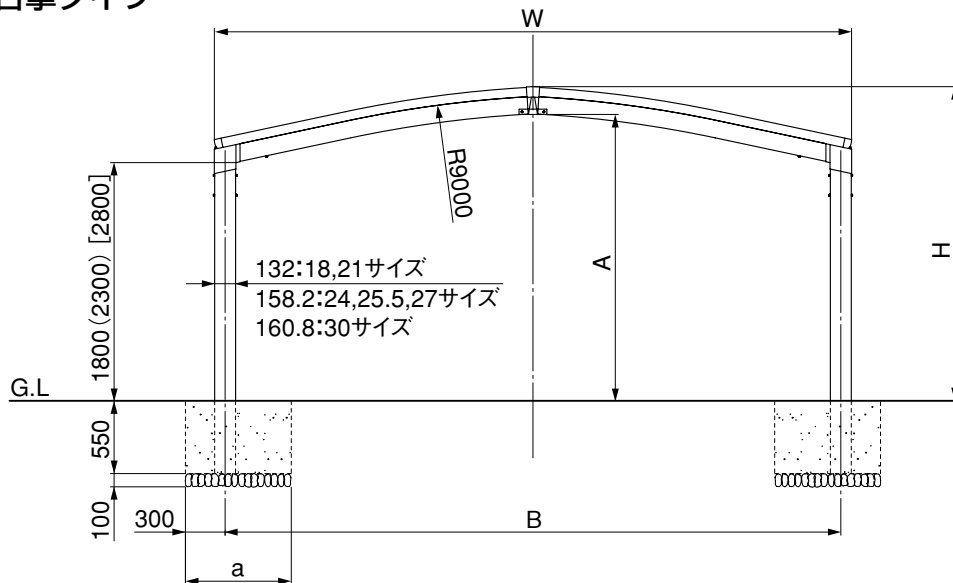
※柱芯々寸法は±100mm以内にしてください。

2-4 奥行き縦2連棟タイプ



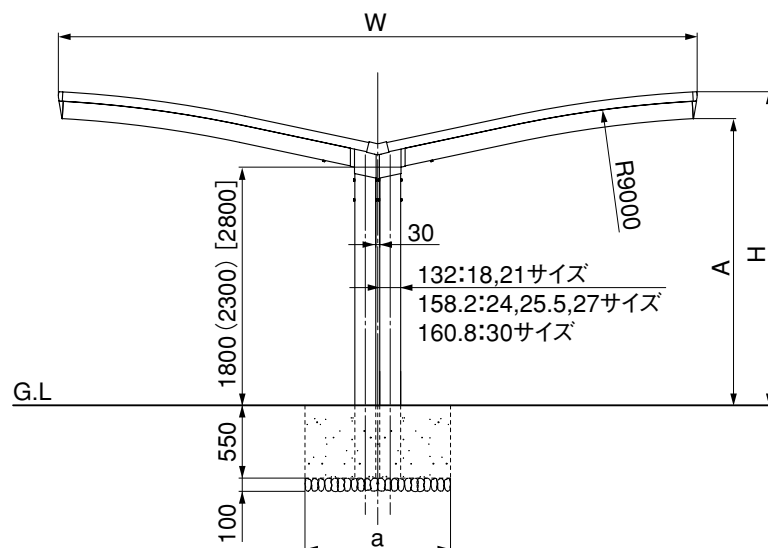
※柱芯々寸法は±100mm以内にしてください。

2-5 M合掌タイプ



サイズ	W	A	H	a:50型	a:57型	B
18-18	3616	2054.3 (2554.3) [3054.3]	2238.8 (2738.8) [3238.8]	600	700	3481
21-21	4216	2118.0 (2618.0) [3118.0]	2302.5 (2802.5) [3302.5]	600	700	4081
24-24	4816	2164.1 (2664.1) [3164.1]	2374.1 (2874.1) [3374.1]	800	950	4653
25.5-25.5	5116	2196.0 (2696.0) [3196.0]	2406.0 (2906.0) [3406.0]	800	950	4953
27-27	5416	2227.8 (2727.8) [3227.8]	2437.8 (2937.8) [3437.8]	800	950	5253
30-30	6014	2374.4 (2874.4) [3374.4]	2584.4 (3084.4) [3584.4]	1000	1150	5849

2-6 Y合掌タイプ



サイズ	W	A	H	a:50型	a:57型
18-18	3628	2057.0 (2557.0) [3057.0]	2234.7 (2734.7) [3234.7]	1100	1400
21-21	4228	2120.7 (2620.7) [3120.7]	2298.4 (2798.4) [3298.4]	1100	1400
24-24	4828	2166.8 (2666.8) [3166.8]	2369.9 (2869.9) [3369.9]	1100	1400
25.5-25.5	5128	2198.7 (2698.7) [3198.7]	2401.8 (2901.8) [3401.8]	1100	1400
27-27	5428	2230.5 (2730.5) [3230.5]	2433.7 (2933.7) [3433.7]	1100	1400
30-30	6026	2377.1 (2877.1) [3377.1]	2580.4 (3080.4) [3580.4]	1200	1600

2 基本の施工方法

1. 基礎の施工

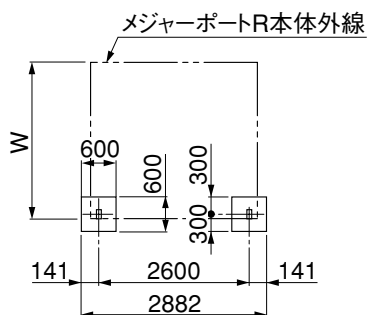


図1-1 29サイズ

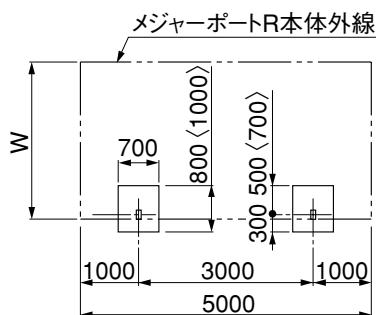


図1-2 50サイズ

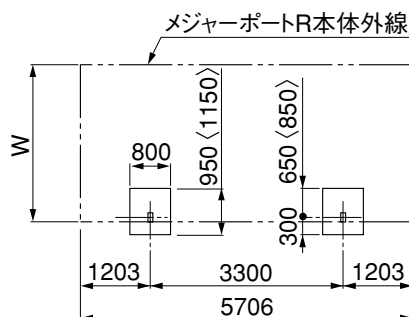


図1-3 57サイズ

サイズ呼称	W
18	1801
21	2101
24	2401
25.5	2551
27	2701
30	3000

- ① 柱の埋込み位置を出して、基礎穴を掘ってください。

補足

- 柱の移動は±100mm以内ですが柱芯々寸法が±100mm以内になるようにしてください。
- 29サイズは柱移動ができません。
- 〈 〉内寸法は30サイズの場合を示します。
- 29サイズはW18,21のみです。

ポイント

- 間口、奥行サイズにより基礎の大きさが変わります。

2. 柱と梁の取付け

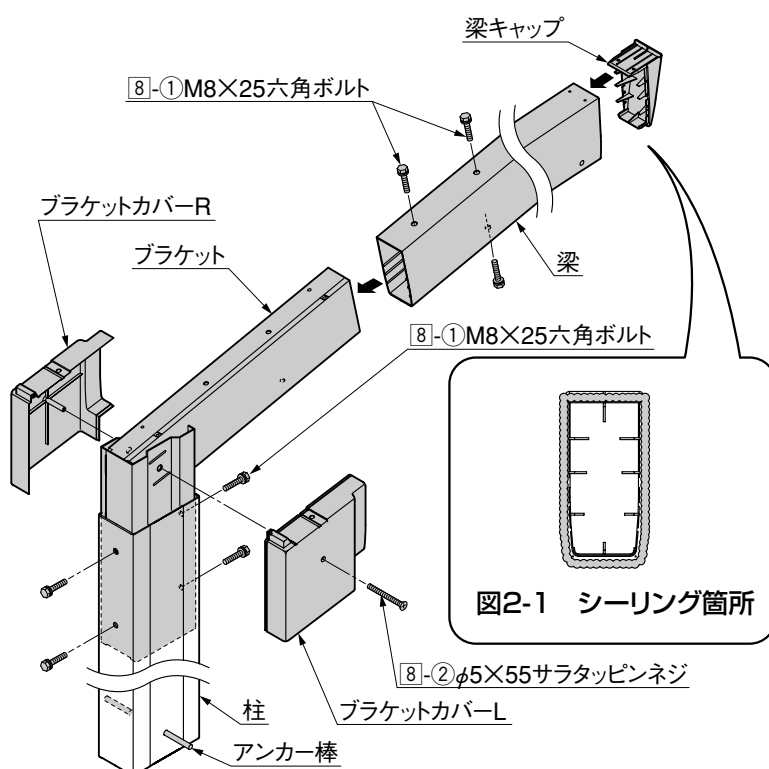


図2-1 シーリング箇所

- ① 柱にアンカー棒を差込んでください。
- ② 柱にブラケットを[8]-①で取付けてください。
- ③ 梁をブラケットに[8]-①で取付けてください。
- ④ ブラケットカバーR、ブラケットカバーLを[8]-②で取付けてください。
- ⑤ 梁キャップにシーリング材を充てんして、梁に取付けてください。(図2-1参照)

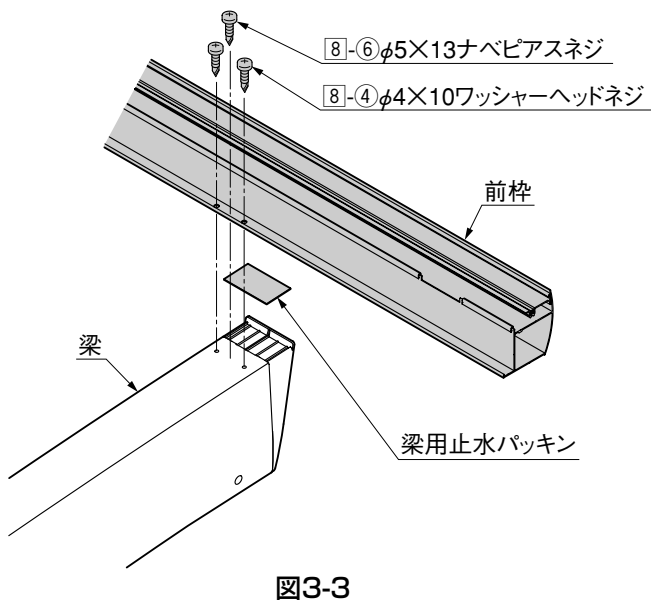
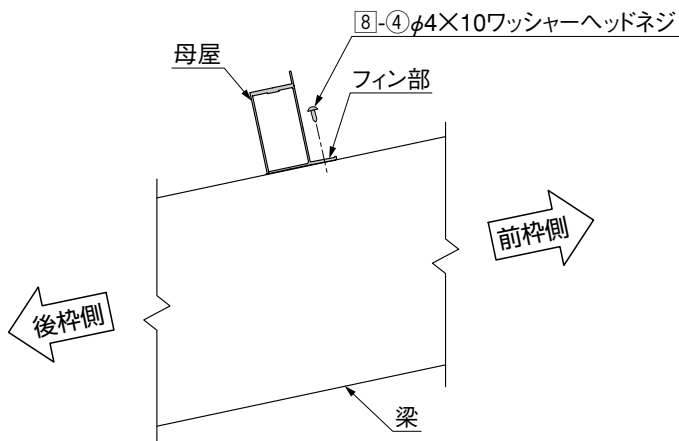
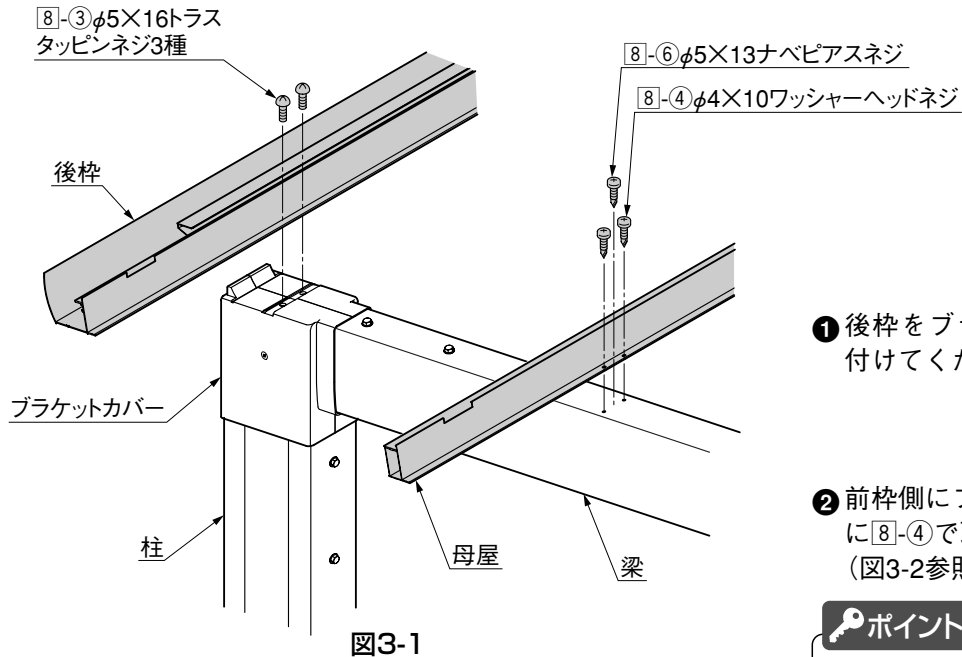
注意

- 「使用上の注意」ラベルを貼っている柱に縦樋を取付けると、表示が見えなくなります。縦樋を取付けない側に表示ラベルを向けてください。

補足

- 指定の箇所にシーリングしてください。(図2-1参照)
- 同梱のブチルシーリングを使用してください。

3. 前枠・母屋・後枠の取付け



① 後枠をブラケットカバーに[8]-③で取付けてください。（図3-1参照）

② 前枠側にフィン部を向けて、母屋を梁に[8]-④で取付けてください。（図3-2参照）

ポイント

- 24,30型の柱側母屋を[8]-⑥で取付けるときはφ4の下孔をあけてから取付けてください。

③ 梁の先端に梁用止水パッキンを取付けて、前枠を梁に[8]-④で取付けてください。（図3-3参照）

ポイント

- 柱を移動した場合は、前枠・後枠・母屋を梁に合わせて後枠はφ5.5、前枠・母屋はφ4.5の穴加工を行ってください。
- 既存の加工穴には孔隠しシールを貼ってください。

4. 側枠・アーチの取付け

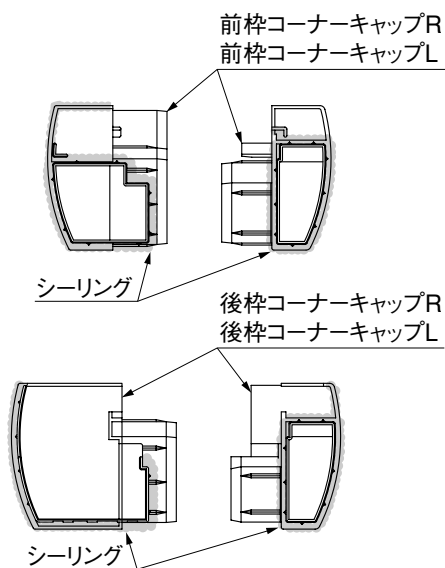


図4-1

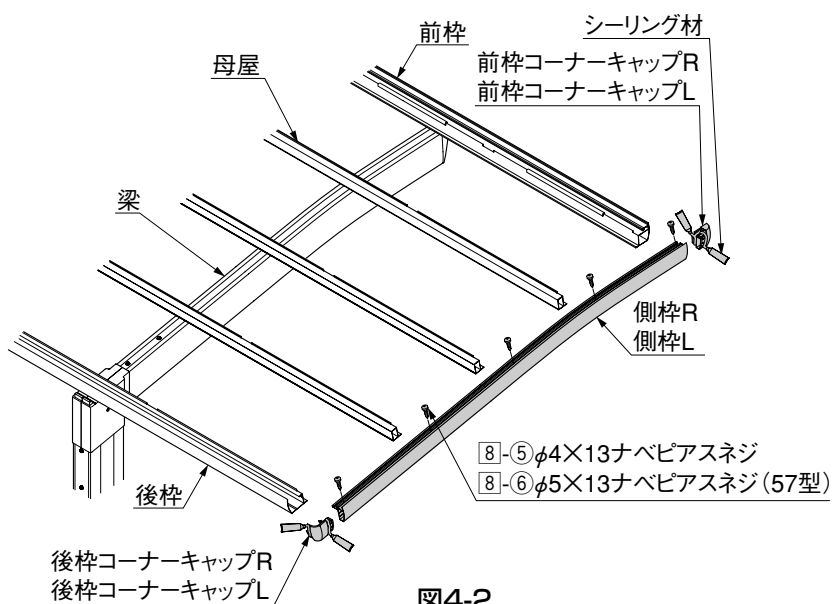


図4-2

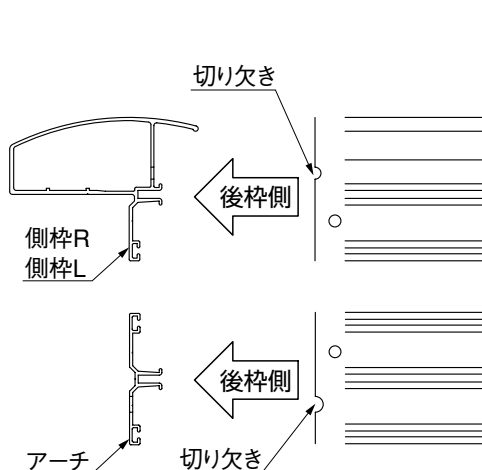


図4-3

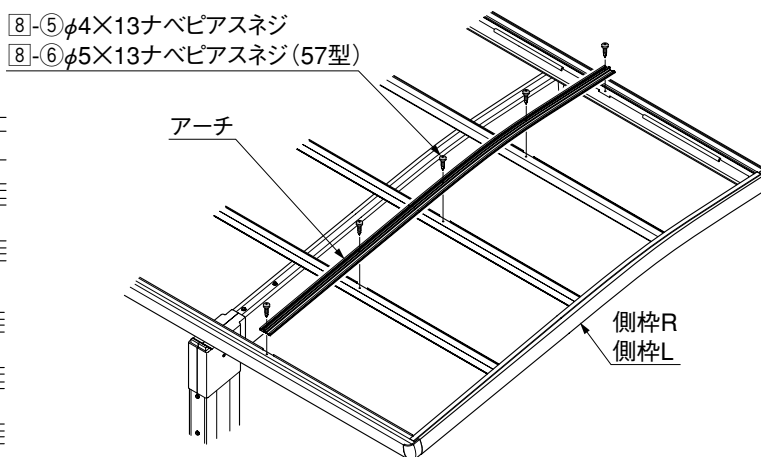


図4-4

- ① 前枠コーナーキャップR・前枠コーナーキャップLおよび後枠コーナーキャップR・後枠コーナーキャップLにシーリング材を充てんして、側枠R・側枠Lに取付けてください。(図4-1、図4-2参照)

ポイント

- 側枠R・側枠Lには左右があります。切り欠きが入っている方を後枠側にしてください。(図4-2参照)

補足

- 指定の箇所にシーリングしてください。(図4-1参照)
- 同梱のブチルシーリングを使用してください。

- ② 前枠・後枠・母屋に側枠R・側枠Lの穴を合わせて、8-5または8-6で取付けてください。
- ③ アーチの前後を確認して、前枠・後枠・母屋にアーチの穴を合わせて、8-5または8-6で取付けてください。(図4-3、図4-4参照)
- ④ 屋根枠まわりの対角・水平出しおよび柱の垂直出しをしてください。

補足

- 前枠・後枠・母屋には加工穴はあいていません。

5. 屋根パネルの取付け

5-1 屋根パネルの取付け手順

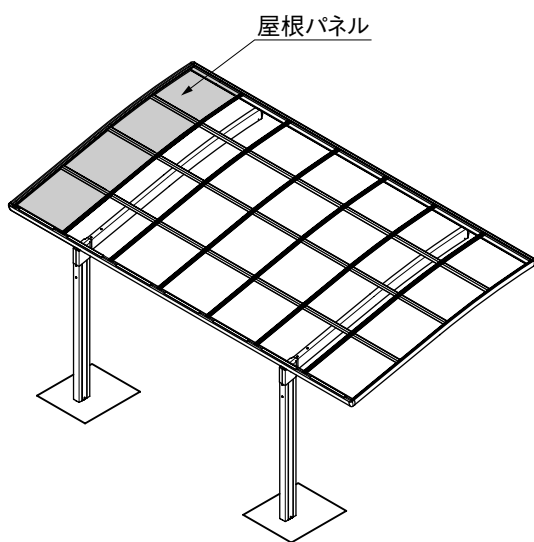


図5-1 屋根パネルの取付け

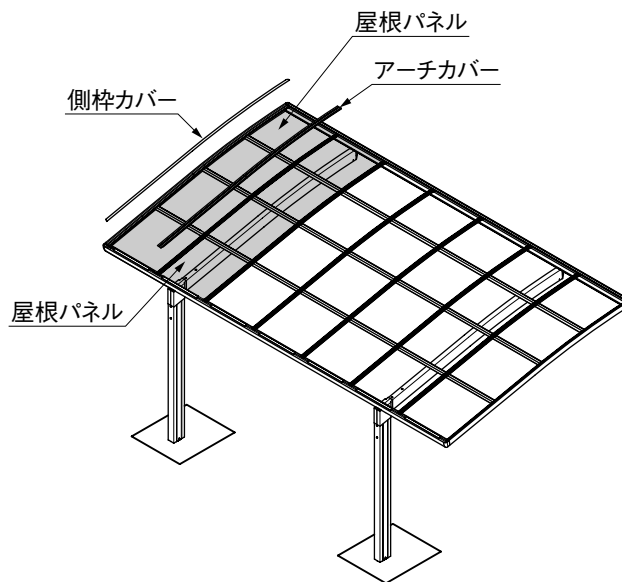


図5-2 側枠カバー、アーチカバーの取付け

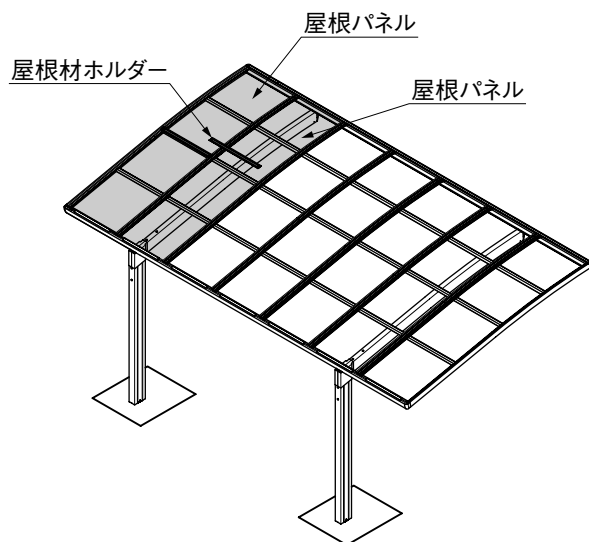


図5-3 屋根材ホルダーの取付け(オプション)

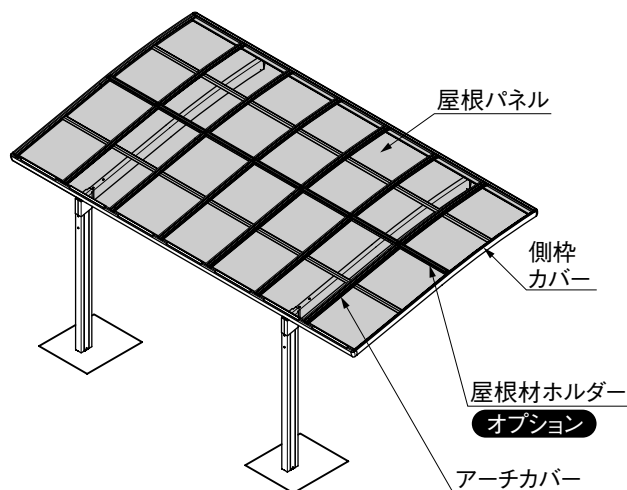


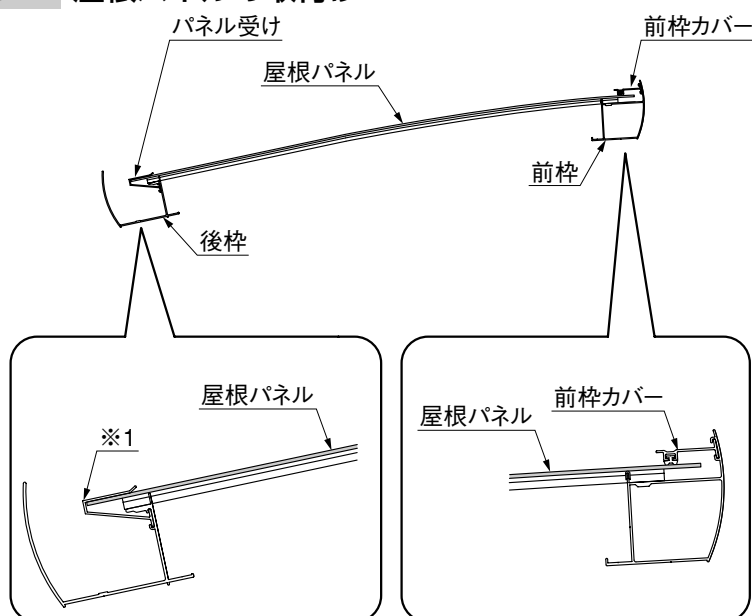
図5-4 取付け完成図

ポイント

- 屋根パネル・側枠カバー・アーチカバー・屋根材ホルダーの取付け順序は必ず守ってください。正確な取付けができないおそれがあります。

5. つづき

5-2 屋根パネルの取付け



- ① 屋根パネルを前枠カバーに差込み、パネル受けに差込んでください。

ポイント

- 屋根パネルは後枠側に突き立ててください。(※1)
- アーチ部ののみ込み寸法は、左右均等にしてください。
- 屋根パネルは必ず裏表を確認し、保護シートをはがしてから取付けてください。

5-3 側枠カバー・アーチカバーの取付け

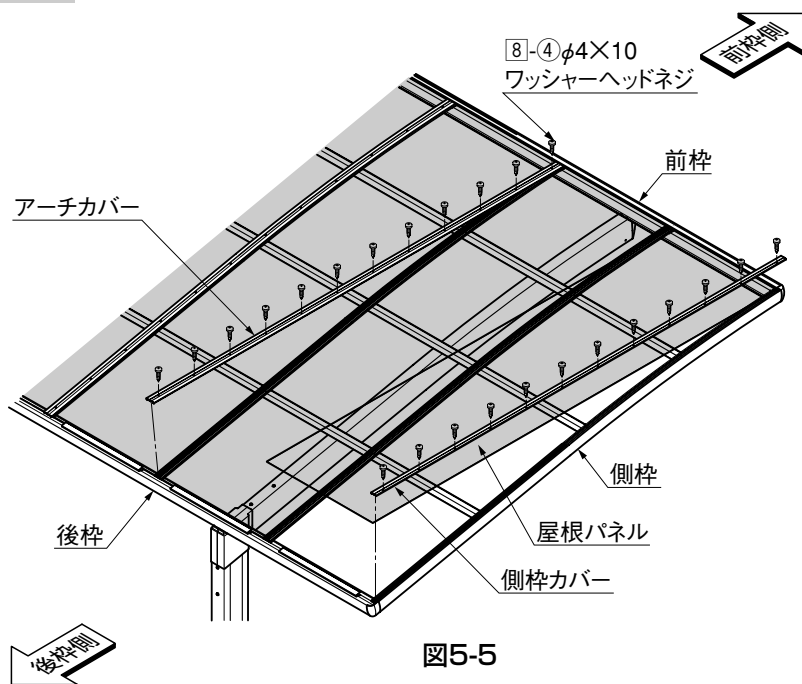


図5-5

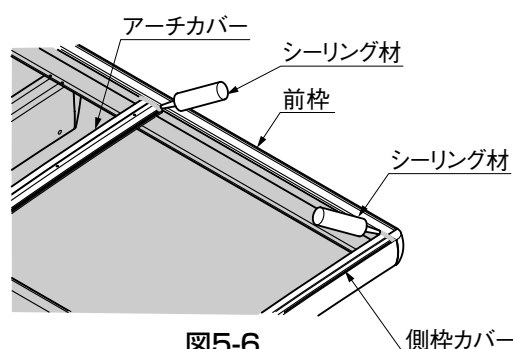


図5-6

- ① アーチカバー・側枠カバーを前枠に突き当てて、前枠側からアーチに[8]-④で取付けてください。(図5-5参照)

ポイント

- アーチとアーチカバーがかみ合っていることを確認してください。
- ② 前枠とアーチカバーの間と前枠と側枠カバーの間にシーリング材を充てんしてください。(図5-6参照)

補足

- 指定の箇所にシーリングしてください。(図5-6参照)
- 同梱のブチルシーリングを使用してください。
- シリコンシーリングを行なう場合、アクリル板およびポリカーボネート板のひび割れなどが考えられますので、当社指定のアルコール系シーリング材を使用してください。(表5-1参照)

表5-1

シーリングメーカー	品名および品番
信越化学工業	シーラント72
東芝シリコン	トスシール380
トーレシリコン	SE960

5-4 屋根材ホルダーの取付け **オプション**

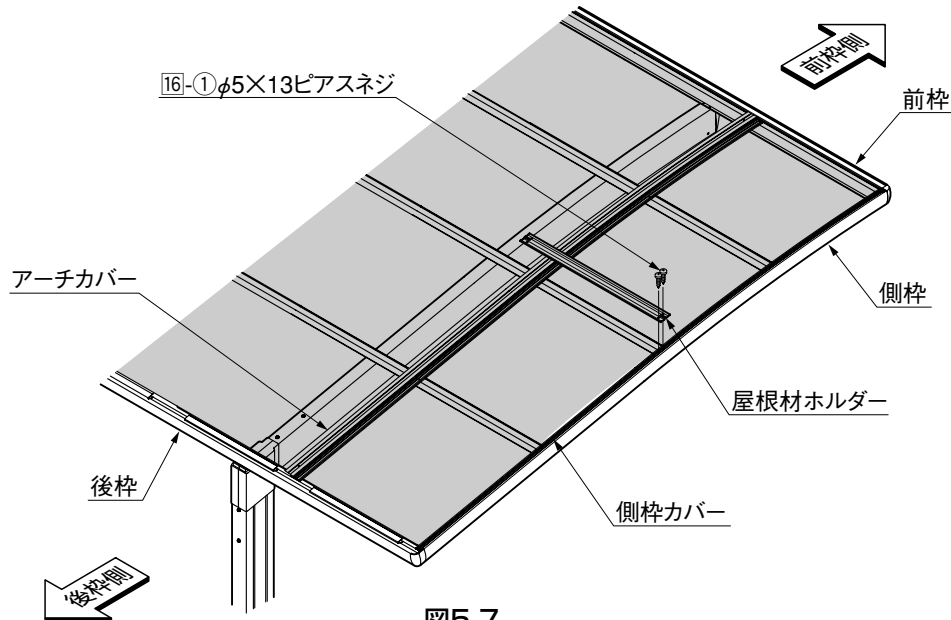


図5-7

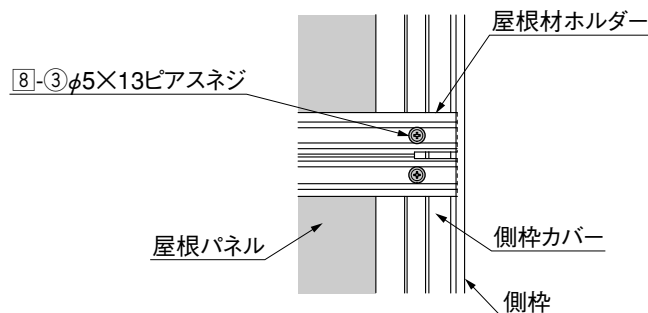


図5-8

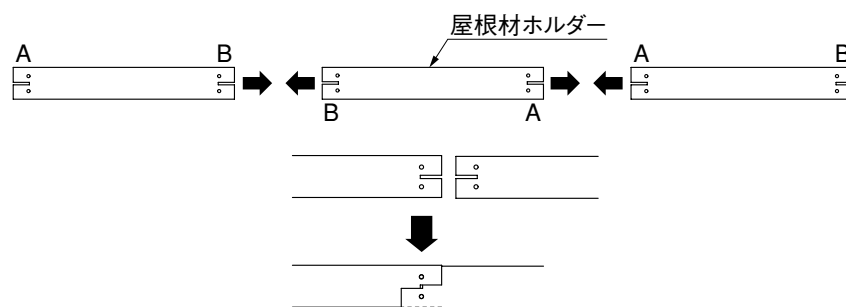


図5-9

- ① 屋根材ホルダーを後枠側から数えて2本目の母屋の真上の位置に[16]-①で取付けてください。(図5-7参照)
- ② サポートと併用する場合は、前枠と後枠から数えてそれぞれ1本目の母屋の真上の位置に取付けてください。

ポイント

- 側枠カバー側のネジだけを固定して、反対側は次の屋根パネルとアーチカバーを取付けた後で固定してください。(図5-8参照)
- 2本目以後の取付けは、1本目の屋根材ホルダーと反対向きにして、切り込み部分をかみ合わせるように取付けてください。(図5-9参照)
- アーチカバーには、屋根材ホルダー取付用の穴はあいていません。

6. 縦樋の取付け

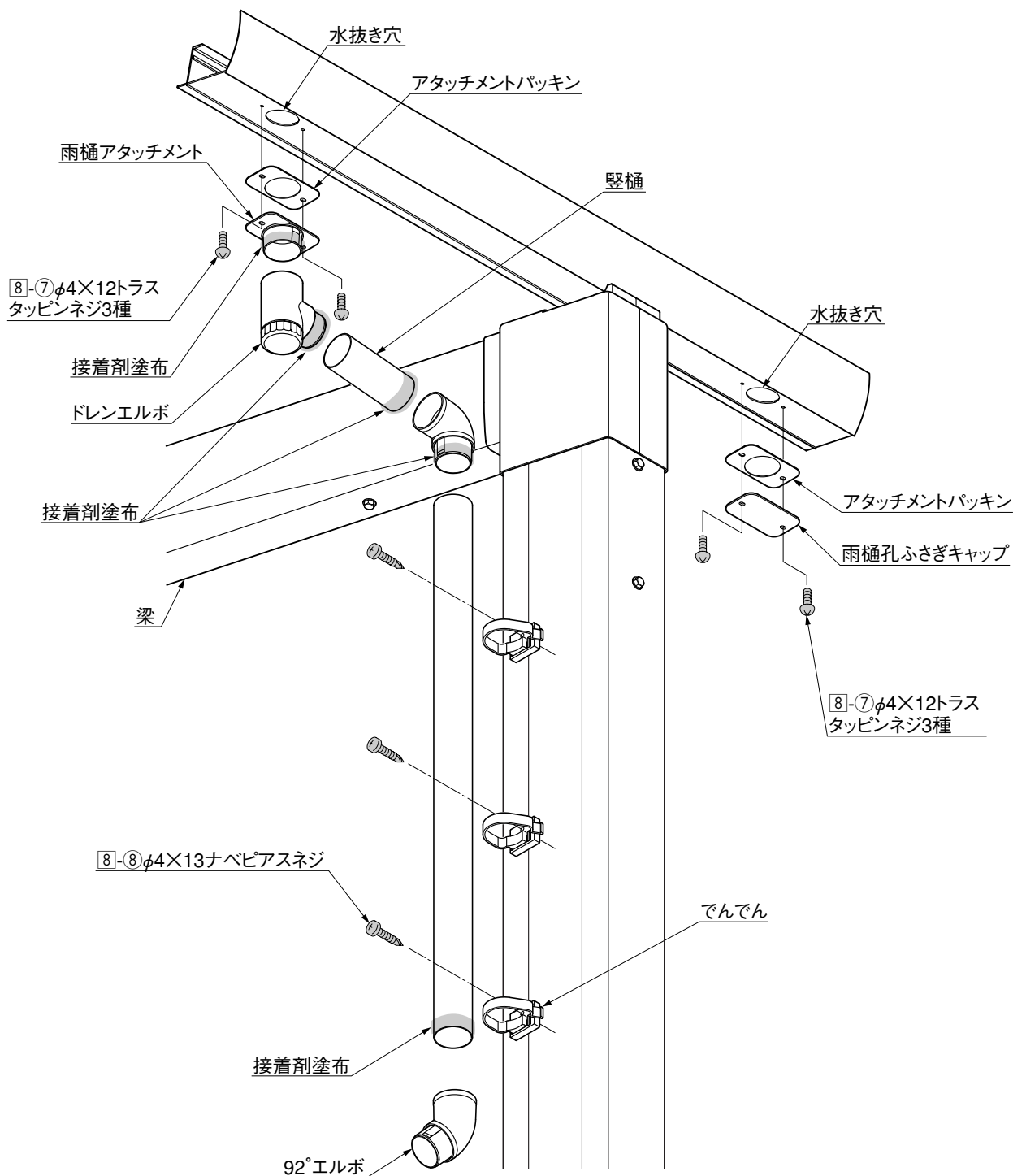


図6-1

- ① 後枠両端の片方の水抜き穴にアタッチメントパッキン、雨樋アタッチメント、ドレンエルボ、縦樋、92°エルボ、でんでんを接着剤と8-7、8-8で取付けてください。
- ② もう一方の水抜き穴に、アタッチメントパッキン、雨樋孔ふさぎキャップを8-7で取付けてください。

3 M合掌の施工方法

1. 基礎の施工

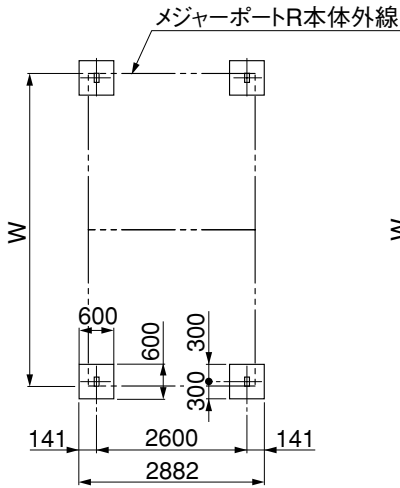


図1-1 29サイズ

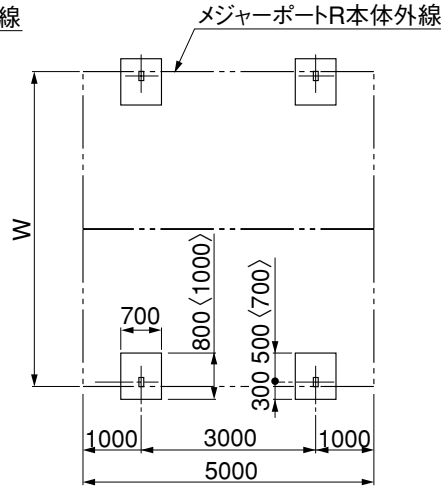


図1-2 50サイズ

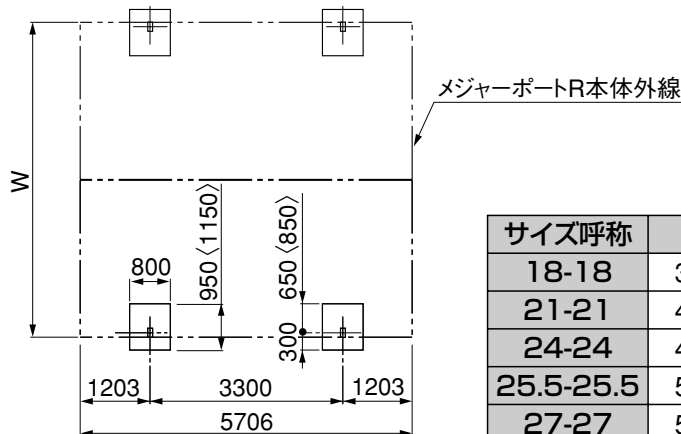


図1-3 57サイズ

サイズ呼称	W
18-18	3616
21-21	4216
24-24	4816
25.5-25.5	5116
27-27	5416
30-30	6014

- ① 柱の埋込み位置を出して、基礎穴を掘ってください。

補足

- 柱の移動は±100mm以内ですが柱芯々寸法が±100mm以内になるようにしてください。
- 29サイズは柱移動ができません。
- 〈 〉内寸法は30サイズの場合を示します。
- 29サイズはW18,21のみです。

ポイント

- 間口、奥行サイズにより基礎の大きさが変わります。

2. 本体の組立て

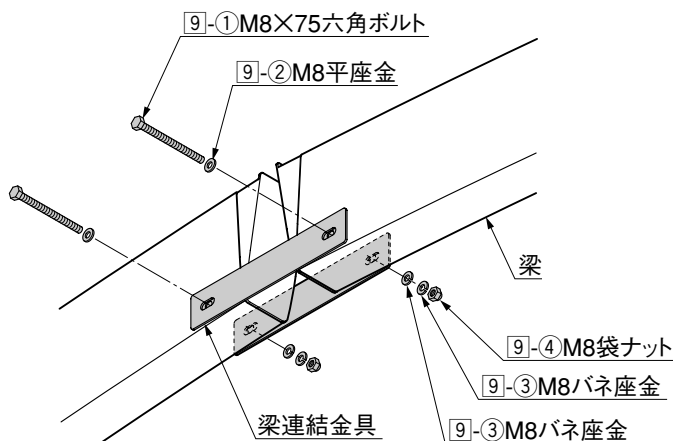
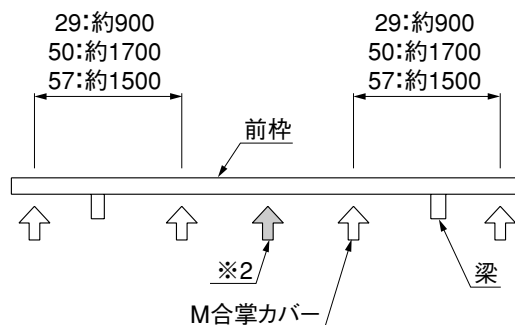
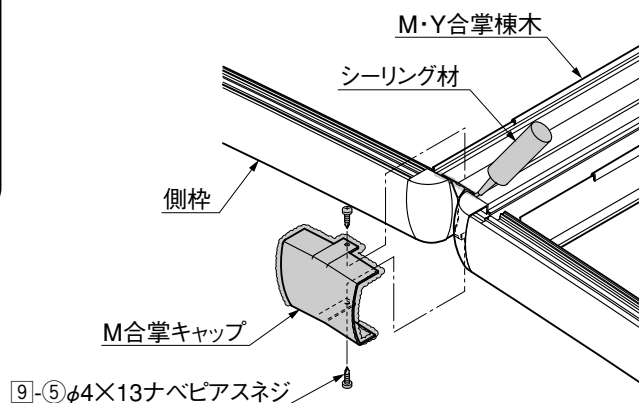
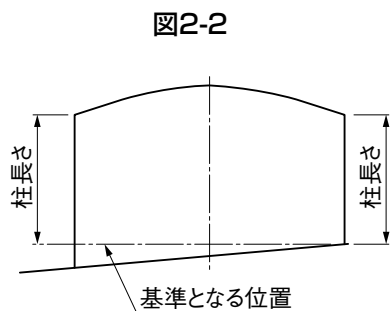
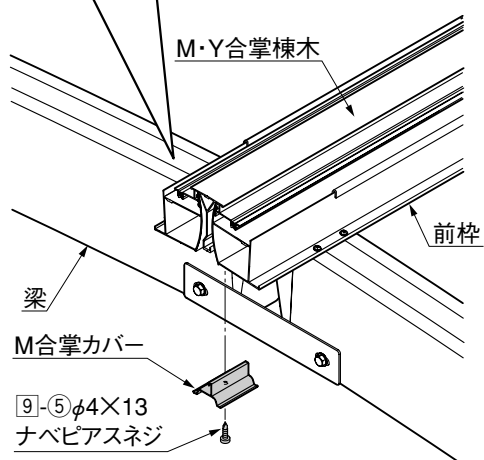
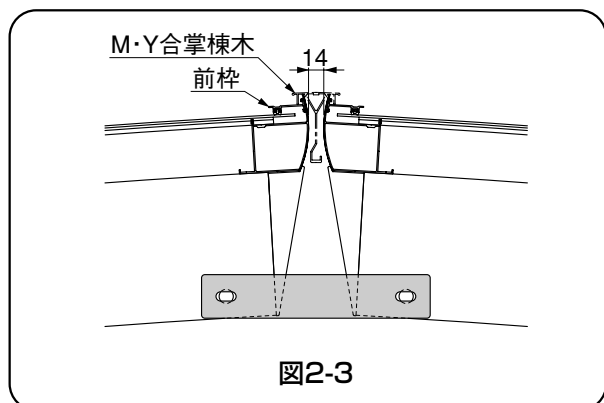


図2-1

- ① 柱、梁を組立てて建て込み、梁のプッシュボタンを外した後、梁と梁を梁連結金具で接続してください。(図2-1参照)

2. つづき



- ② M・Y合掌棟木を前枠と前枠の間に乗せてM合掌カバーで固定してください。（図2-2参照）
- ③ M合掌キャップを取付けてください。（図2-5参照）

ポイント

- 基準になる位置からの柱の長さを同じにしてください。合掌棟木に水がたまり、漏水するおそれがあります。（図2-5参照）

補足

- M合掌部以外の取付けは、「2 基本の施工方法」を参照してください。
- 前枠と前枠間隔は14mmであることを確認してください。（※1）
- 57型のみ中心になります。（※2）

4 Y合掌の施工方法

1. 基礎の施工

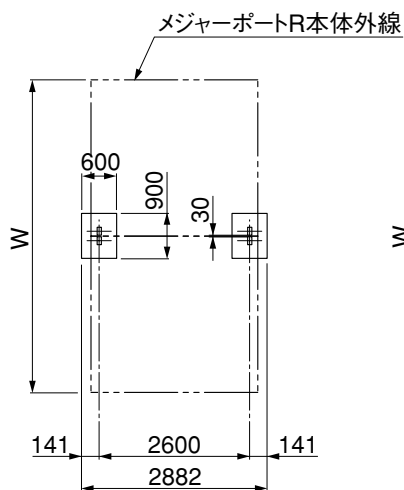


図1-1 29サイズ

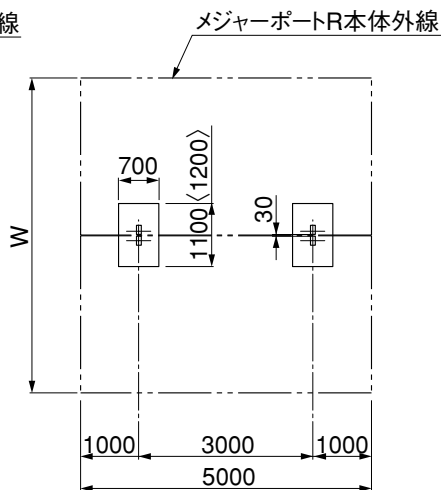


図1-2 50サイズ

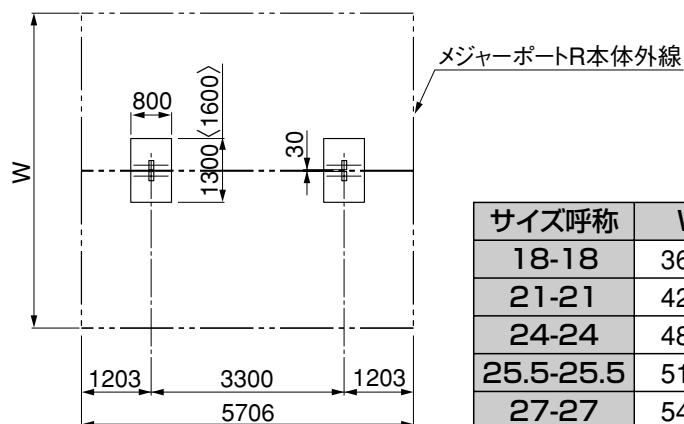


図1-3 57サイズ

サイズ呼称	W
18-18	3628
21-21	4228
24-24	4828
25.5-25.5	5128
27-27	5428
30-30	6026

- ① 柱の埋込み位置を出して、基礎穴を掘ってください。

補足

- アンカー棒は必ず柱に取付けて施工してください。
- 柱の移動は±100mm以内ですが柱芯々寸法が±100mm以内になるようにしてください。
- 29サイズは柱移動ができません。
- 〈 〉内寸法は30サイズの場合を示します。
- 29サイズはW18,21のみです。

ポイント

- 間口、奥行サイズにより基礎の大きさが変わります。

2. 本体の組立て

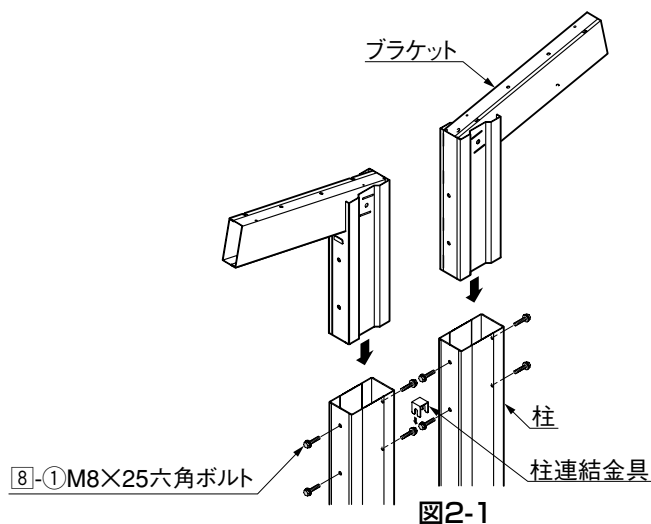


図2-1

- ① 柱にブラケットを差し込み、柱前面のみに固定してください。
- ② 合掌面側の[8]-①を軽く締め、すき間に柱連結金具を差込んで固定してください。(図2-1参照)

ポイント

- 柱と柱のすき間は30mmです。
- 柱の上面は同一高さにしてください。
- 柱連結金具は、下側の[8]-①に止めてください。

2. つづき

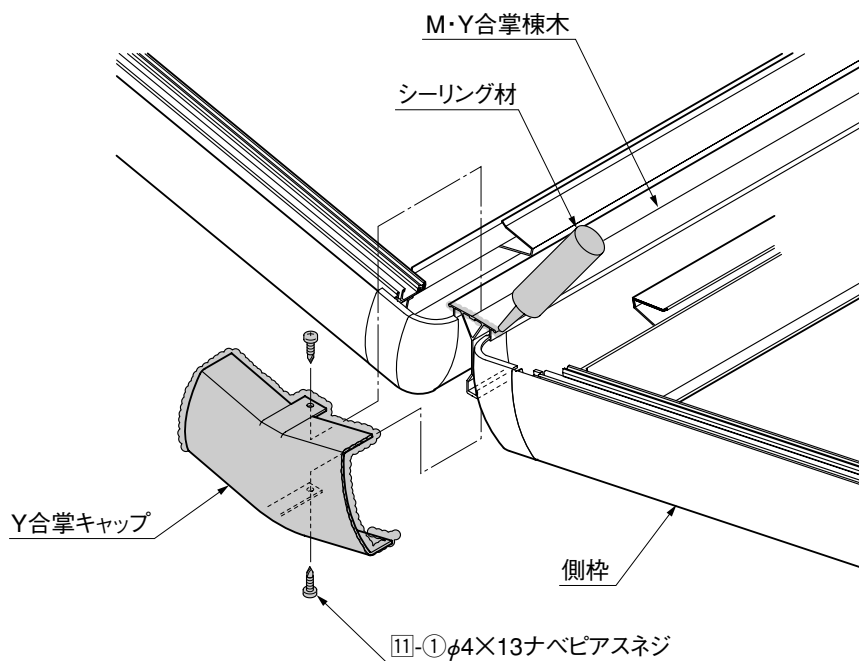


図2-2

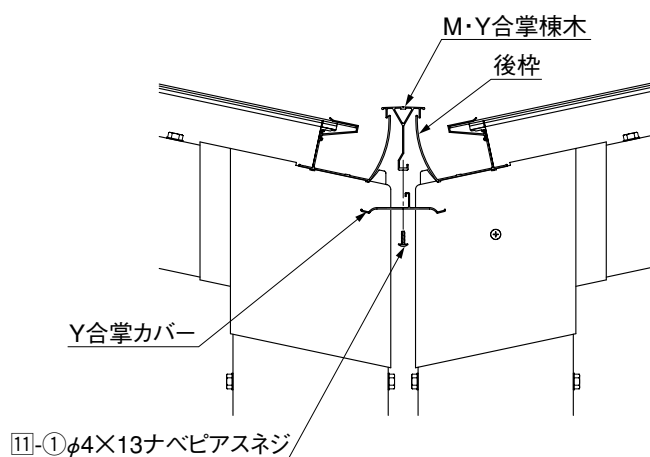
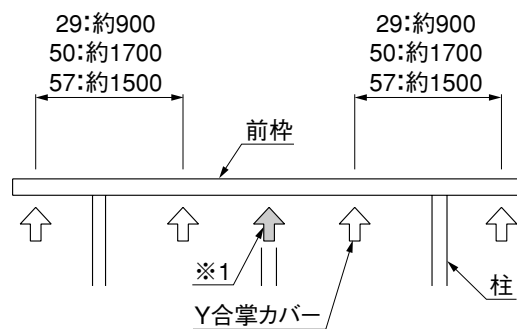


図2-3



Y合掌カバー取付け位置

- ③ M合掌棟木・Y合掌棟木を後枠の間に乗せて、Y合掌カバーで固定してください。(図2-3参照)
- ④ Y合掌キャップを取付けてください。(図2-2参照)

ポイント

- キャップ固定後、回りにシーリングしてください。

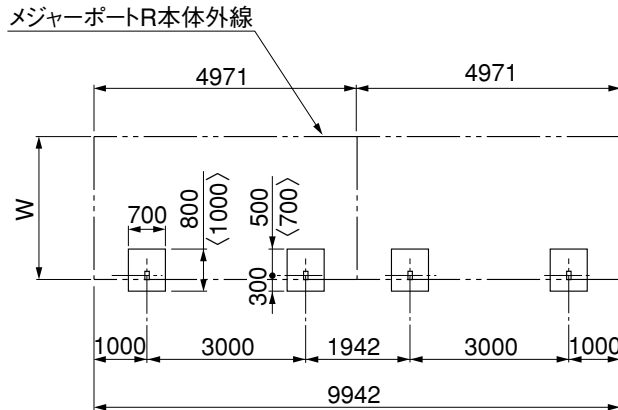
補足

- Y合掌部以外の取付けは、「2 基本の施工方法」を参照してください。

5 縦連棟の施工方法

1. 基礎の施工

1-1 50サイズ+50サイズ



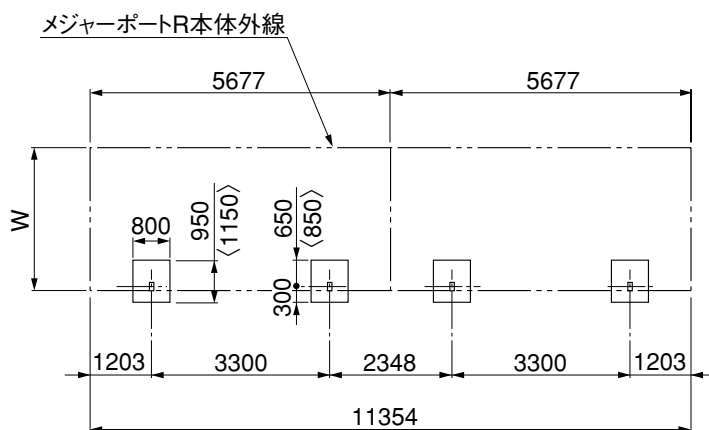
サイズ呼称	W
18	1801
21	2101
24	2401
25.5	2551
27	2701
30	3000

- ① 柱の埋込み穴の位置を出して、柱基礎穴を掘り込んでください。

補足

- 基礎構造については「1.基本寸法と各部の名称 2.基本寸法」を参照してください。
- 柱の移動は±100mm以内ですが柱芯々寸法が±100mm以内になるようにしてください。
- 〈 〉内寸法は30サイズの場合を示します。

1-2 57サイズ+57サイズ



サイズ呼称	W
18	1801
21	2101
24	2401
25.5	2551
27	2701
30	3000

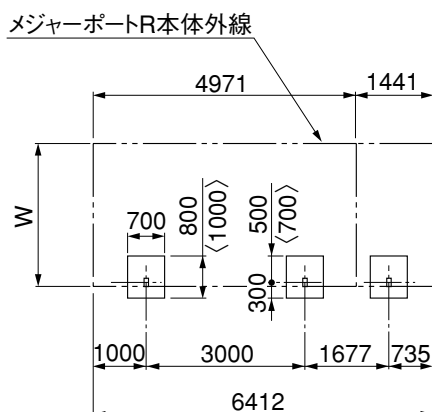
- ① 柱の埋込み穴の位置を出して、柱基礎穴を掘り込んでください。

補足

- 基礎構造については「1.基本寸法と各部の名称 2.基本寸法」を参照してください。
- 柱の移動は±100mm以内ですが柱芯々寸法が±100mm以内になるようにしてください。
- 〈 〉内寸法は30サイズの場合を示します。

1. つづき

1-3 50サイズ+14サイズ



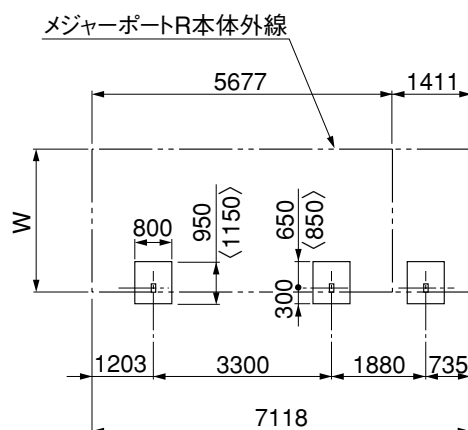
サイズ呼称	W
18	1801
21	2101
24	2401
25.5	2551
27	2701
30	3000

- ❶ 柱の埋込み穴の位置を出して、柱基礎穴を掘り込んでください。

 補足

- 基礎構造については「1.基本寸法と各部の名称 2.基本寸法」を参照してください。
- 柱の移動は±100mm以内ですが柱芯々寸法が±100mm以内になるようにしてください。
- 〈 〉内寸法は30サイズの場合を示します。

1-4 57サイズ+14サイズ



サイズ呼称	W
18	1801
21	2101
24	2401
25.5	2551
27	2701
30	3000

- ❶ 柱の埋込み穴の位置を出して、柱基礎穴を掘り込んでください。

 補足

- 基礎構造については「1.基本寸法と各部の名称 2.基本寸法」を参照してください。
- 柱の移動は±100mm以内ですが柱芯々寸法が±100mm以内になるようにしてください。
- 〈 〉内寸法は30サイズの場合を示します。

2. 本体の連結

2-1 連棟部の加工 ※()内寸法は、モダンカラー用の場合です。

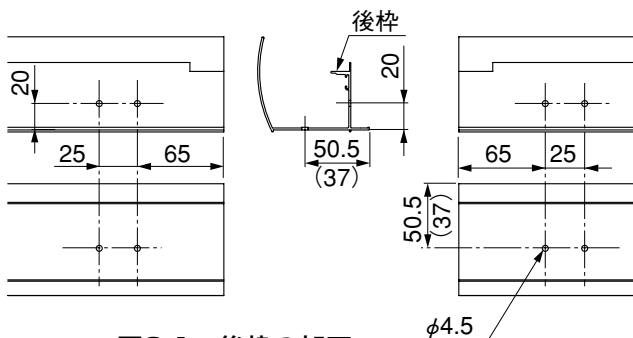


図2-1 後枠の加工

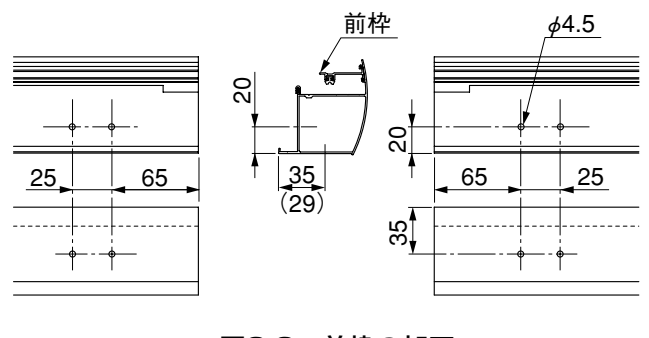


図2-2 前枠の加工

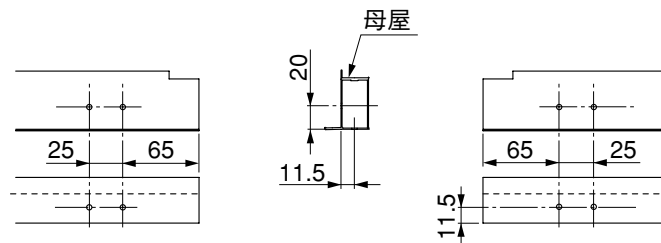


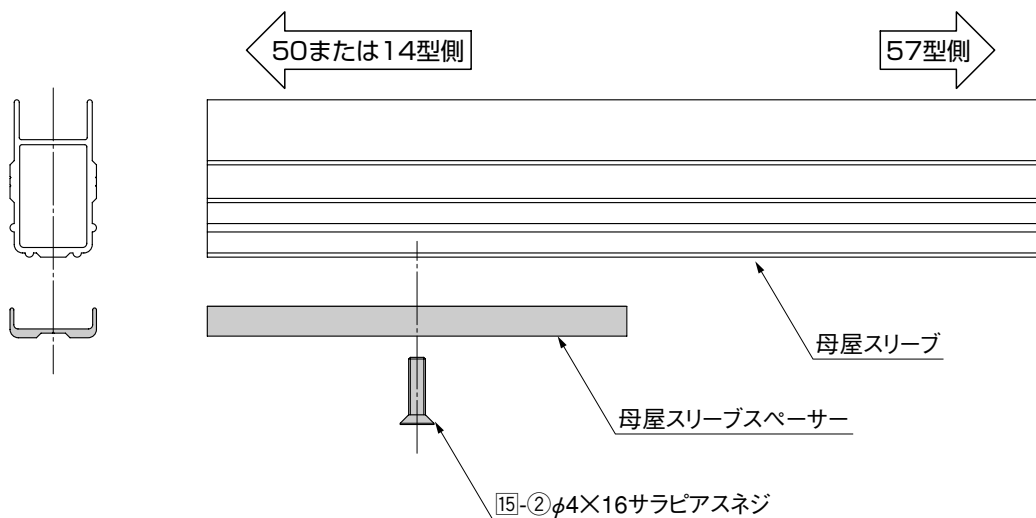
図2-3 母屋の加工

① 後枠・前枠・母屋の連棟側を穴加工してください。(図2-1、図2-2、図2-3参照)

ポイント

- 母屋側面の穴加工はフィン側にしてください。

2-2 母屋スリーブスペーサーの取付け

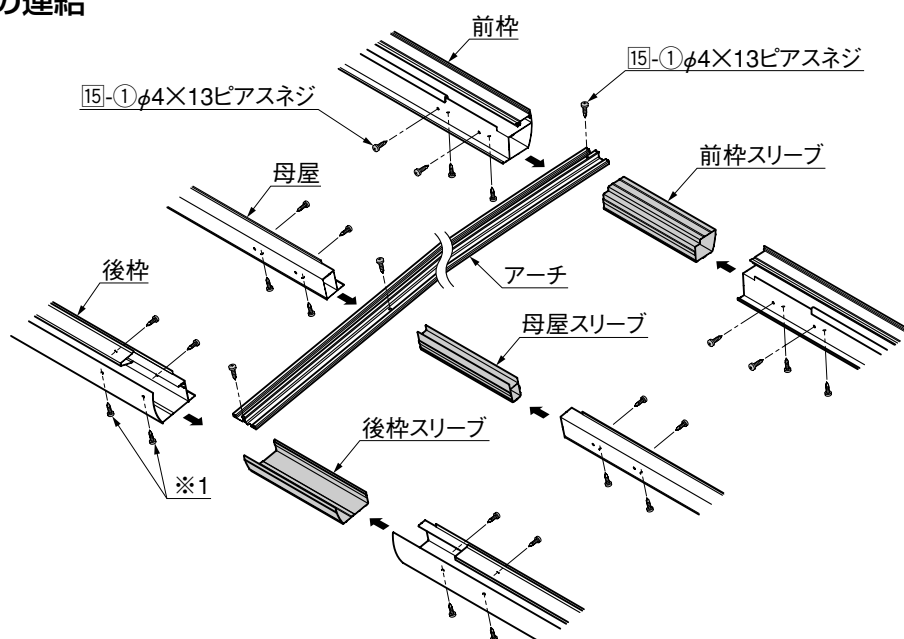


ポイント

- 57型の母屋と50または14型の母屋を連棟する場合のみ行なってください。
- 57型同士、50型同士、50型と14型の連棟では母屋スリーブスペーサーの取付けは行ないません。

2. つづき

2-3 連棟部の連結



- ❶ 後枠スリーブを取付ける15-①にシーリングをしてください。(※1)
- ❷ 前枠・母屋・後枠にそれぞれ前枠スリーブ、母屋スリーブ、後枠スリーブを15-①で取付けて連結してください。
- ❸ 全ての15-①の回りにシーリングをしてください。

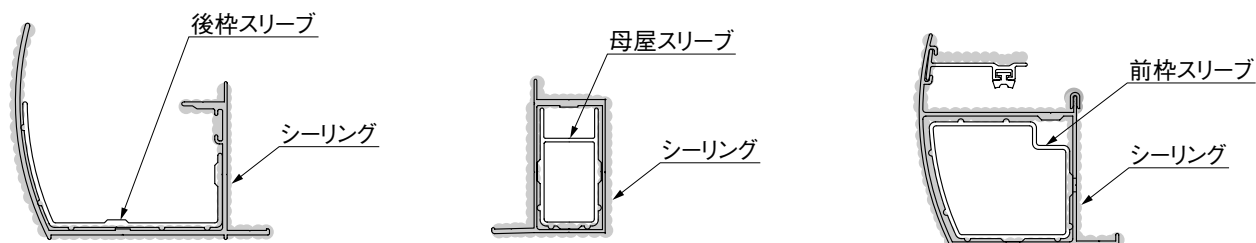
ポイント

- 連棟部分以外の組立ては、「2.基本の施工方法」を参照してください。

補足

- 指定の箇所にシーリングしてください。
- 同梱のブチルシーリングを使用してください。

2-4 シーリング処理



- ❶ 連棟部分にシーリングを充てんしてください。

補足

- 指定の箇所にシーリングしてください。
- 同梱のブチルシーリングを使用してください。

3. M合掌・Y合掌の縦連棟

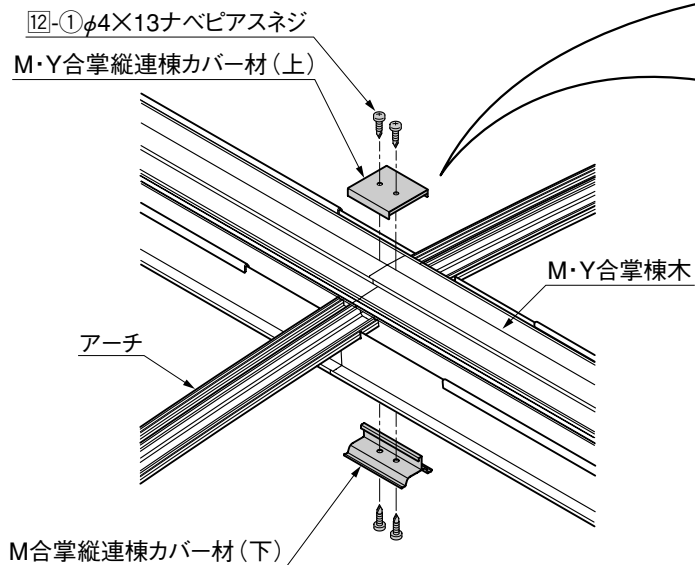


図3-1 M合掌縦連棟

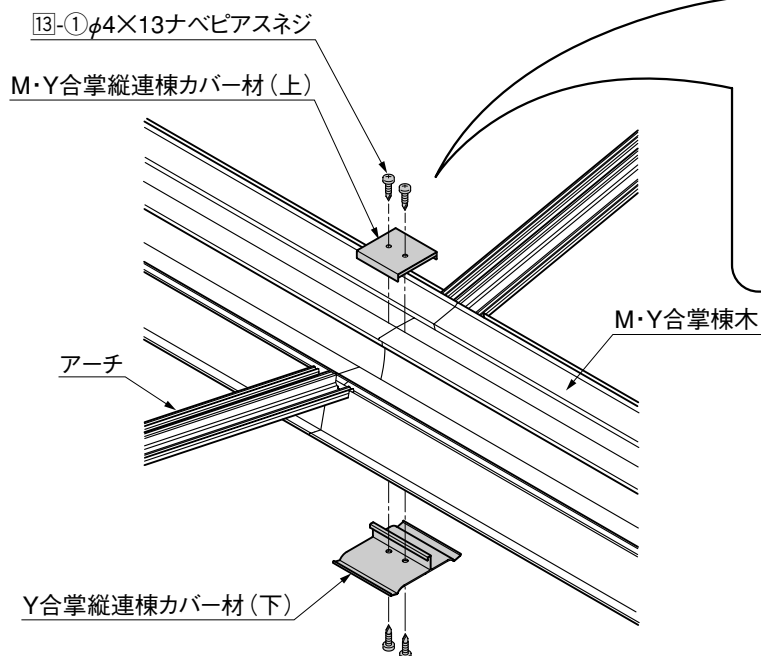


図3-2 Y合掌縦連棟

- ❶ M合掌・Y合掌の棟木の接続部にM合掌・Y合掌縦連棟カバー材(上)、縦連棟カバー材(下)を取付けてください。(図3-1、図3-2参照)

補足

- 連棟部以外の取付けは、「[3 M合掌の施工方法](#)」、「[4 M合掌の施工方法](#)」を参照してください。

iiDEX